

令和6年度 こばとこども園 教育活動等に対する教職員自己評価

令和6年12月11日

1 こども園の教育目標 … 明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 … 笑顔あふれる安心の基地

※評価基準 4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(無回答・該当外)
(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価						評価点
		4	3	2	1	0	回答数(0を除く)	
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	5	18	1	0	1	24	3.17
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	5	13	2	0	5	20	3.15
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	13	9	0	0	3	22	3.59
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	7	9	0	0	9	16	3.44
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切にして環境構成を工夫している	12	7	0	0	6	19	3.63
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	5	11	2	0	7	18	3.17
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切にし、こどもの体調が悪くないか確かめている	18	3	0	0	4	21	3.86
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	15	8	0	0	2	23	3.65
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	9	11	1	0	4	21	3.38
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	8	12	0	0	5	20	3.40
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	10	11	3	0	1	24	3.29
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	2	9	7	0	7	18	2.72
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている	6	15	2	0	2	23	3.17
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	8	13	1	0	3	22	3.32
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	17	7	0	0	1	24	3.71
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気を付けている	17	7	0	0	1	24	3.71

評価対象	評価項目	自己評価						回答数(0を除く)	評価点
		4	3	2	1	0			
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	10	11	3	0	1	24		3.29
	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	19	5	0	0	1	24		3.79
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	7	15	2	0	1	24		3.21
4. 保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使って保護者に適切に伝える	13	7	0	0	5	20		3.65
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	12	11	1	0	1	24		3.46
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	23	1	0	0	1	24		3.96
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	21	3	0	0	1	24		3.88
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	4	13	7	0	1	24		2.88
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	0	13	8	0	4	21		2.62
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2	11	8	0	4	21		2.71
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	12	11	1	0	1	24		3.46
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	18	5	1	0	1	24		3.71
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	16	9	0	0	0	25		3.64
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にやっている	18	1	1	0	5	20		3.85
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	6	10	2	0	7	18		3.22
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	6	12	1	0	6	19		3.26
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	7	11	2	0	5	20		3.25
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	7	8	8	0	2	23		2.96
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	5	14	4	0	2	23		3.04

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言>
 <コロナ禍後の教育・保育についての提言>
 <業務の改善・効率化についての提言>
 <不適切な保育の防止についての提言>